理学療法とは

理学療法とは、病気やケガ、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、**運動機能の維持・改善を目的**に運動療法を行う治療方法です。

理学療法の直接的な目的は、運動機能の回復にありますが、**日常生活動作（ADL）の改善を図り、最終的には生活の質（QOL）の向上**を目指します。

当院、理学療法室では病気や障害があっても、住み慣れた街で、自分らしく暮らしたいというひとりひとりの思いを大切にしています。

理学療法の対象疾患

理学療法の対象者は、主に運動機能が低下した人々ですが、その原因は問いません。病気やケガはもとより、高齢や手術により体力が低下した方々などが含まれます。

脳血管障害
脳卒中、脳出血、くも膜下出血、脳の外傷などの脳血管障害による術後など。

整形外科疾患
手や足、脊椎の骨折、肩関節周囲炎、腰椎椎間板ヘルニア、靭帯損傷、変形性関節症、手足の切断、人工股・膝関節全置換術、大腿骨頚部骨折術後、腱板修復術後など。

呼吸器疾患
慢性閉塞性肺疾患、肺炎、喘息、術後の肺機能低下など。

心疾患
心筋梗塞、狭心症、心臓血管外科手術後など。

内科的疾患、体力低下
高齢、術後の体力低下など。

理学療法を受けるには

理学療法は医療行為に位置付けられており、医師の指示に基づいて行われます。当院に入院、または通院中の場合、まずは主治医・担当医にご相談ください。医師が理学療法の必要性を判断いたします。

理学療法室　疾患別活動班

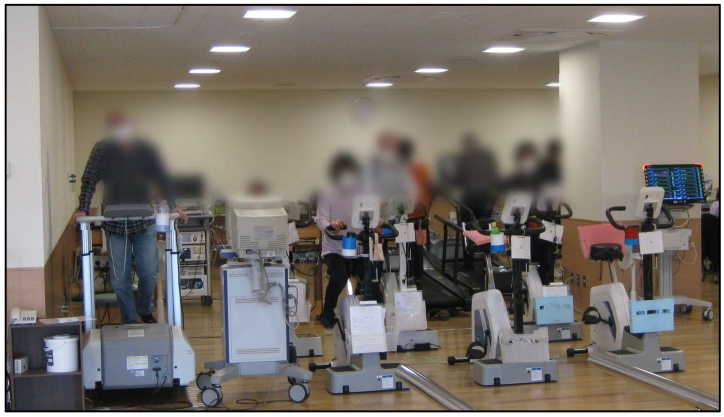
- 運動器班
- 脳血管障害班
- 心臓リハビリ班
- 回復期リハビリ班

理学療法室では、疾患別活動班としてチームを構成し、より専門的知識をもって理学療法を提供します。

理学療法室　リハビリ風景

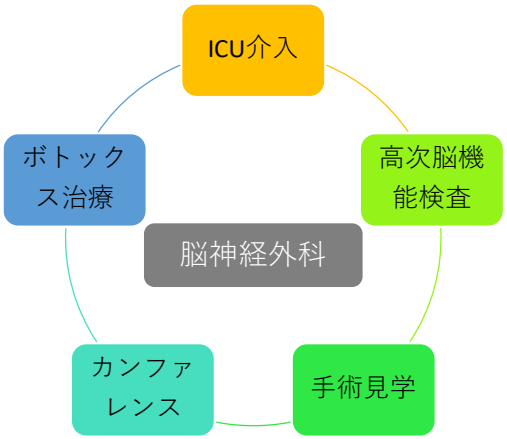
新しい病院で、広くてキレイな環境でリハビリをしています！

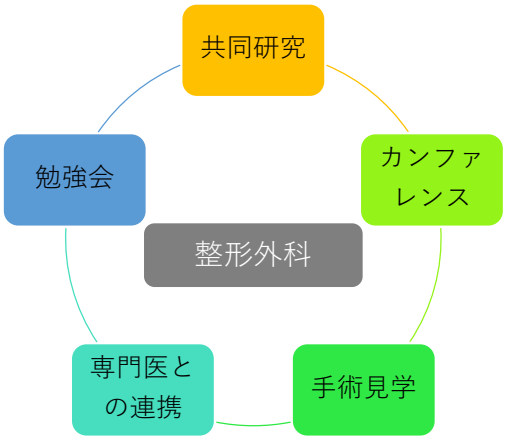
心臓リハビリテーション

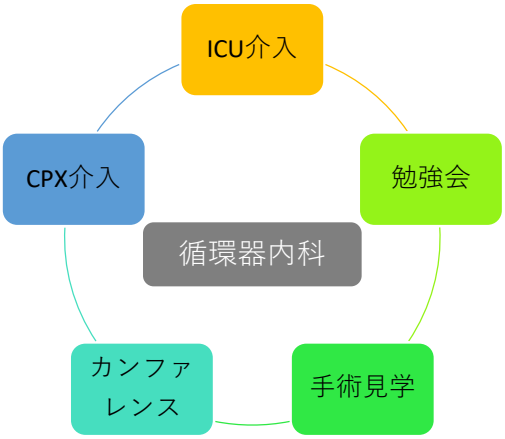


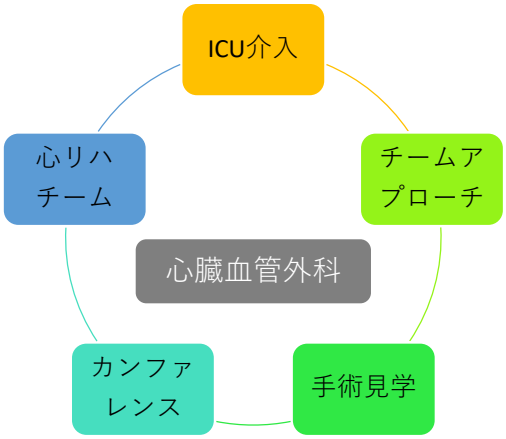
当院では、心臓リハビリテーションに積極的に取り組んでいます。主に心疾患を対象とし、大きな治療が必要ない方も「**進行予防**」という観点で取り組んでいます。
医師、看護師、理学療法士、作業療法士がチームとなって正しい運動方法、生活様式、食事内容を指導しています。心臓の病気を抱え、今の生活に疑問のある方はお気軽にお問い合わせください。

各診療科との連携









リハビリテーション科では、各診療科と密に連携を取り、より質の高いリハビリテーションを提供できるよう努めています。上記以外の診療科ともそれぞれ連携しています。

理学療法士による様々な活動

理学療法士の活動は医療機関の中だけではなく、地域への障害予防対策、最近ではスポーツ分野における外傷予防など、障害予防の観点から健康な人々にも広がりつつあります。当院の理学療法士においても、以下のような運動、動作の専門性を活かした活動を行っています。

出前講座
ご依頼のあった地域の団体さまに運動の方法や病気、ケガの予防方法などを実技を交えてお伝えいたします。
詳しくは当ホームページ「地域医療連携のご案内」をご参照ください。

ポジショニングチーム
入院中に活動量が低下した方に、褥瘡（いわゆる床ずれ）予防を目的に適切なポジションで身体に負担がかからない姿勢で過ごしていただけるよう設定します。必要に応じてご家族さまへのご説明も行います。

市民公開講座
毎年、テーマを変えてリハビリテーション科が主催して地域のみなさまに講演を行っています。

2014年度「心臓血管外科医が話す生活習慣病予防に基づいた健康法」
2015年度「骨粗しょう症とロコモティブシンドローム」
2016年度「高齢者のかかりやすい肺炎について」
2017年度「脳卒中の基礎知識～症状からリハビリまで～」
2018年度「ひざの痛みについて」
2019年度「認知症ってどんな病気？」(台風接近により中止)

理学療法士　学術実績

【学会発表】
2024年度
日本神経理学療法学会――――――――――――――――中尾章吾、萩岡裕柾、佃洸輝、澤井啓耀
三重県理学療法士学会――――――――――――――――安岡祥基

2023年度
日本神経理学療法学会――――――――――――――――中尾章吾
日本運動器理学療法学会――――――――――――――――清水恒良
三重県理学療法士学会――――――――――――――――稲増真利、松石康平、佃洸輝、澤井啓耀
日本リハビリテーション学会近畿地方会――――――――坂本恭彦
日本転倒予防学会――――――――――――――――清水恒良

2022年度
三重県理学療法士学会――――――――――――――――松石康平、萩岡裕征
東海北陸理学療法学会――――――――――――――――東真衣
日本心リハ学会東海支部――――――――――――――――坂本恭彦
日本神経理学療法学会――――――――――――――――中尾章吾

理学療法士　教育体制

【新人教育共通研修】
新入職員全員を対象に医療従事者として必要な基礎知識からリハビリに関わる専門的な内容を学習します。

【理学療法　新人教育勉強会】
新人理学療法士を対象に運動器疾患、脳血管疾患、内部疾患、心臓リハビリなど疾患別に専門的な知識・技術の研修会を実施します。

【症例検討会・症例報告会】
リハビリを実施している患者さんの疾患に対して客観的に症状を報告し、改善に向けて議論し合います。経験豊富な理学療法士の意見を新人理学療法士が参考にして、ひとりでは解決できなかったことなど、様々な意見を取り入れて日々、治療に取り組んでいます。